

畜産環境整備リース事業事務手続マニュアル

平成27年7月

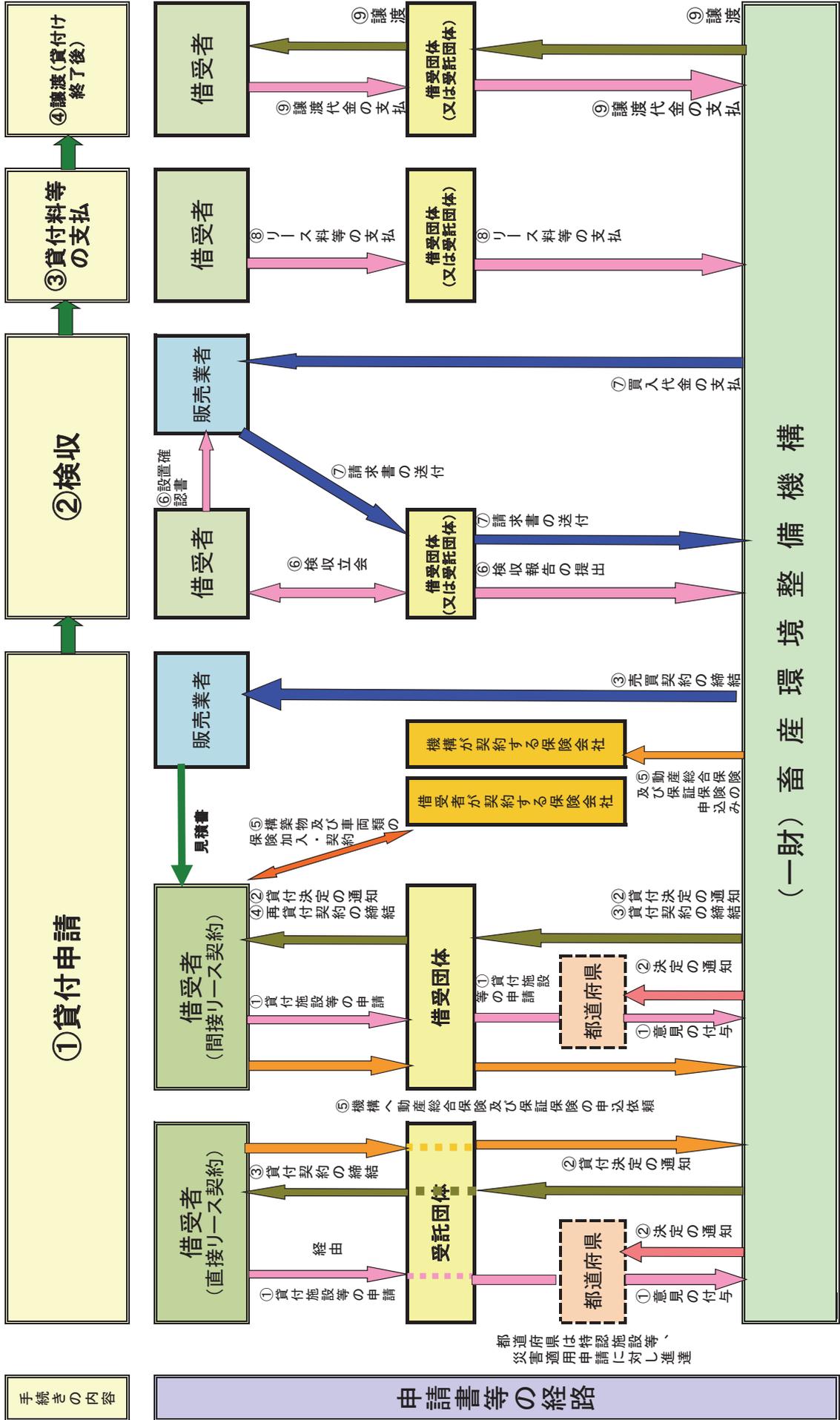
一般財団法人 畜産環境整備機構

畜産環境整備リース事業事務手続マニュアル

目次

	頁
○ リース事業の仕組み	1
○ 貸付施設等一覧表	2
I 貸付申請等の様式記入例	
1 実施要領に基づく貸付申請書の記入例	3
(1) 事例1 (貸付申請者が個人の場合) の記載方法	3
(2) 事例2 (貸付申請者が法人の場合) の記載方法	9
2 その他の様式	15
3 見積書作成の注意点	21
II 検収手続に関する様式記入例	
1 検収報告に提出する書類一覧	24
2 検収の手続きについて (フロー)	25
3 「貸付施設等検収報告書」作成時の留意点	26
4 検収写真の撮り方	27
5 貸付料等の支払い方法が年4回払いの検収速報について	28
6 畜産環境整備機構保証保険の加入申込みについて (委任状)	29
7 検収時における損害保険加入状況等確認について	30
8 「貸付契約書」記入案内	32
9 「売買契約書」記入等案内	33
10 「貸付施設等設置確認書」作成時の留意点	34
11 貸付施設等の事故報告から保険金請求等手続きの流れ	35
12 動産総合保険の保険料率と算出例	36

リース事業の仕組み



手続きの内容

申請書等の経路

貸付施設等一覧表

	項 目	品 目	貸付期間	短縮	延長
家畜ふん尿 処理施設等	ふん尿処理施設	たい肥舎、たい肥舎(屋根掛け)、乾燥舎、発酵舎、たい肥置き場、貯留槽、浄化槽、副資材置き場(主としてコンクリート製のもの)	17	10	20
		発酵舎、たい肥置き場、副資材置き場(主として金属製のもの)	14	9	17
		貯留槽、浄化槽(主としてFRP製のもの)	8	5	10
		ふん尿処理施設用屋根(主として金属のもの)	14	9	17
		ふん尿処理施設用屋根(主として木製のもの)	5	3	6
	ふん尿処理機械・装置	発酵機(装置)、攪拌乾燥機(装置)、火力乾燥機、送風機(装置)、換気扇、ふん尿焼却炉、鶏ふんボイラー、固液分離機、汚水攪拌機、ばっ気装置、浄化装置	7	4	9
	運搬用機具	フロントローダー、フォークリフト、コンベアー、トレーラー、動力運搬車、搬送装置、パネルボックス、トラクター、ショベルローダー	7	4	9
		トラック	5	3	6
		ダンプカー、軽自動車	4	2	5
	散布機	マニアスプレッター、バキュームカー(けん引式のもの)、尿ポンプ、ブロードキャスト、レインガン	7	4	9
	作業用機械	バークリーナー、ピットクリーナー、スクレッパー、集ふん機、集ふん車、袋詰機、袋詰装置、粉碎機、成型圧縮機	7	4	9
悪臭防止用機械・装置	換気装置、換気扇、脱臭装置	7	4	9	
飼料の生産、 給与等施設等	飼料貯蔵用施設	飼料貯蔵施設(主としてコンクリート製のもの)	17	10	20
		飼料貯蔵施設(主として金属製のもの)	14	9	17
		飼料貯蔵施設(主としてFRP製のもの)	8	5	10
		飼料貯蔵用施設用屋根(主として金属製のもの)	14	9	17
		飼料貯蔵用施設用屋根(主として木製のもの)	5	3	6
	飼料作物生産・調整用機械	ハーベスター、モア、カッター、レーキ、ヘーベラー、ロールベラー、テッター、ヘーメーカー、ロータリー、ブローアー、デストリビューター、アンローダー、ベールグラブ、ラッピングマシン、栽培管理用機械	7	4	9
	飼料調整用機械	飼料混合機、飼料攪拌機、給餌装置	7	4	9
	運搬用機械	トラクター、動力運搬車、フロントローダー、ショベルローダー、コンベアー、トレーラー、ファームワゴン、ホイスト	7	4	9
トラック		5	3	6	
ダンプカー、軽自動車		4	2	5	
家畜飼養管理 施設等	家畜管理機械・装置	カーフハッチ、飲水機、給水装置、管理柵、搾乳装置、バルククーラー、牛床マット、スタンション、噴霧機(装置)、洗浄機(装置)、消毒機、ボイラー、暖房装置、秤量機、発情発見機、搾乳ユニット自動搬送装置、集卵装置、汚卵洗浄機、エコフィード給餌システム	7	4	9

特認機械	家畜の飼養環境の改善に関するもの	牛舎の屋根掛けや増築他	-	-	-
	畜産経営の合理化のための先進的な技術体系に関するもの	顕微鏡、クリーンベンチ、マイクロマニピレーター他	-	-	-
	6次産業化に関するもの	アイスクリーム製造機、チーズ製造機、ヨーグルト製造機、フリーザー、ミートスライサー、包装機他	-	-	-

* 上記に記載のない機械もリースの対象となりますので、不明な場合はお問合せ下さい。

I 貸付申請等の様式記入例

(1) 事例1(貸付申請者が個人の場合)の記載方法

前提条件

申請者	屋号又は法人名	港牧場
	経営者又は代表者	虎ノ門 一郎(63歳)
	後継者	無し
経営状況	経営形態	酪農
	飼養頭数・規模等	搾乳牛30頭・育成牛20頭
	生産量	9,200kg/頭
	労働力	3人(家族労働3人)
	田畑	田1ha・畑1ha・草地6ha
貸付希望施設等	名称	換気扇(インバータ付き)
	能力	インバータ方式 型式NK-14FRB、NK-14EZB
	購入価額(円、税抜)	3,100,000
	利用方法	畜舎内環境改善

貸付申請に当たって提出する書面(個人用)

作成者	提出が求められる書面	様式の所在	
借受者	貸付施設等貸付申請書	実施要領－別紙様式の1 実施要領－様式1号の1(個人)	
	所得税青色申告決算書(直近年度)		
	所得税の確定申告書B (第一票及び第二表)(直近年度)		
	認定農業者である場合、認定書面		
	状況に応じて必要な書類	長期借入金等負債の償還計画書 (負債等の割合が5割超の場合)	リース事業の健全かつ円滑な実施の確保について－別紙2
		経営状況報告書 (申請額等が3千万円～1億円未満の場合)	リース事業の健全かつ円滑な実施の確保について－別紙3
		事業計画書 (申請額等が1億円以上の場合)	リース事業の健全かつ円滑な実施の確保について－別紙4
		共同利用計画書 (共同利用の場合)	
		他の経営の収入明細 (複合経営等である場合)	
		貸付対象施設等を設置するために必要な法的手続きに関する調書(構築物等の場合)	留意事項(通常リース)－様式例2
受託団体等	貸付申請書の進達書	留意事項(通常リース)－様式例3	
	畜産高度化支援リース事業貸付申請に係る審査表	留意事項(通常リース)－様式例1－1	
	長期借入金等確認書 (決算書で長期借入金等が確認できない場合)		
販売業者	販売業者の見積書		
	貸付施設等のカタログ・図面		
	中古の場合	中古機械等の評価書	
		古物商許可証の写し	

申請書を作成した日
を記入

平成27年7月1日

畜産高度化支援リース事業貸付施設等貸付申請書
(畜産環境整備リース事業)

一般財団法人 畜産環境整備機構 理事長 殿

現住所を記入

○名称
屋号があれば、その名称
○氏名等
申請者名を記入

貸付申請者 (〒)住所又は所在地
〒1050001 港区虎ノ門 5-12-1

ふりがな みなとほくじょう
名称 港牧場

○アドレス
・メールアドレスを保有していれば、
そのアドレス
・ホームページを開設していれば、
そのアドレス

ふりがな とらのもん いちろう
氏名等 虎ノ門 一郎
電話番号 03-321-7654



貸付けを受けたく、畜産高度化支援リース事業実施要
領の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

なお、貸付申請に当たり、下記3の事項についてはこれを誓約します。

記

申請者の経営規模・状況等を簡潔に
記入

1 貸付申請者の状況等

(記入例)

現在、乳牛50頭規模の酪農を経営。経営状況は、25年度までの3年間連続して所得が赤字でしたが、26年度は黒字になりました。今後、良質な生乳を生産することにより、経営の安定を図りたい。

貸付申請施設等の導入の理由及びの効果等を簡潔に記入

2 貸付希望施設等

(記入例)

現在、畜舎を開放して温度を下げているが、夏場において畜舎内の温度が上昇し、乳量等に影響が出ています。このため、夏場の乳量を確保し、良質の生乳を生産するために、換気扇の導入が必要になる。

3 誓約事項

- (1) 貸付決定の上は、実施要領、貸付契約書の諸条項及び貸付決定通知書の記載事項を遵守します。
- (2) 貸付施設等を借り受けるに当たり、貸付契約の締結時に、「リース事業保証保険」に加入する必要がある場合、機構にその手続きを委任します。
- (3) 今後の貸付決定通知書等文書の受領、貸付料等金銭の納入等に係る諸手続きについては、すべて受託団体を通じて行います。

様式1号の1

1 貸付申請者

氏名・年齢	虎ノ門 一郎 (63歳)			
後継者の有無	有 (申請者との関係)、●			
経営継続の確認	(記入例) リース期間中は、経営を継続します。			
農協等への加入時期	大・●・平 62年 4月			
労働力(従業員数)	3人(家族労働 3人、雇用労働 0人)			
農業経営	家畜家さん等の種類	申請時(頭・羽)	前年度(頭・羽)	前々年度(頭・羽)
	乳牛 経産牛	32	30	29
	育成牛	20	20	20
田畑等の面積	田 1ha、畑 1ha、草地 6ha			
項目	26年度(千円)	25年度(千円)	24年度(千円)	
収入金額①	30,418	27,162	26,692	
経費②	26,311	28,013	27,766	
差引金額③=①-②	4,107	△851	△1,074	
繰戻額等④	0	0	0	
繰入額等⑤	1,800	1,800	1,800	
青色申告控除額⑥	100	0	0	
所得額⑦=③+④-⑤-⑥	2,207	△2,651	△2,874	
長期借入金等負債の額⑧	19,350			
負債等の割合⑨=⑧÷①	64%			

60歳以上で後継者がいない場合は、「リース期間中は経営を継続する。」旨の記入がある者のみリースが可能

後継者がいる場合は、有に○、また申請者との関係を記入

家畜の飼養頭羽数は、種類別に記入
預託については、その頭数を()書き

左の欄を直近年度とする

田畑等の面積は、借地を含めて記入

①～⑦までは、「平成26年所得税青色申告決算書・損益計算書」例の該当する番号の額を記入

・5割を超えているため、「長期借入金等負債の償還計画」の提出が必要
・5割未満の場合は、提出の必要なし

- 注1 経営継続の確認は、年齢が60歳以上の者で後継者がいない畜産経営を継続する旨を記述すること。
- 加入時期は、リースを申請する窓口である団体(農協、飼料基金等)に加入した年月とすること。
 - 家畜家さん等の種類欄は、乳牛、肉牛(黒毛、F1、乳用種等)、繁殖豚、肥育豚、卵鶏及び肉鶏等を記載する。頭羽数は、種類ごとにできるだけ詳しく記入する(乳牛の例:育成牛、子牛、未經産牛など)。また、預託の場合は、()書きで内数の頭数を記入すること。
 - 直近の経営状況については、所得税青色申告決算書(損益計算書(収入金額の内訳等を含む。)、貸借対照表)に所得税の確定申告書B(第一表及び第二表)を添付のこと。(確定申告等の内容が正確に把握できる資料があれば、それらの資料でも可)
 - 取得額(消費税込み)が3千万円を超える場合は、直近5年の経営状況を記載のこと。
 - 長期借入金等の額は、貸借対照表の固定負債の総額と純資産額の繰越損金等額との合計とする(以下同じ。)

- ・リース物件ごとに記入
- ・複数台数を一括して申請する場合は、備考欄にその明細を記入する
- ・貸付対象施設等の名称は、実施要領別表の貸付施設等の名称を記入
- ・本体価額は税抜きで千円単位

2 貸付申請施設等

リース物件の名称	換気扇			合計
①本体価額	3,100,000 円	,000 円	,000 円	3,100,000 円
消費税額(円単位)	248,000 円	円	円	155,000 円
合計(円単位)	3,348,000 円	,000 円	円	3,348,000 円
②補助金額	,000 円	,000 円	,000 円	,000 円
③取得価額(①-②)	3,100,000 円	,000 円	円	3,100,000 円
備考欄(台数が複数の場合は明細)	NK-14FPB 5台 NK-14EZB 5台			
販売業者等	名称	港機械(株)		
	電話	03-999-1234		
銘柄又は製造業者等	M社製			
型式・面積・容積				
新品・中古の区分	新品・中古			
製造年(中古のみ記入)				
設置場所(車両の保管場所)	港区虎ノ門 5-12-3			
車両保険加入の有無	有・無			
貸付期間の短縮又は延長(理由)	7年→4年	年→年	年→年	年→年
	(記入例) 資金計画の都合により償還を早めたい			
貸付対象施設等の利用方法(用途)	(記入例) 畜舎内に設置することにより、夏場の温度を引き下げる。			
附加貸付料率低減の申請	リース物件の用途を簡潔に記入			附加貸付料低減を申請する場合は、実施要領の第3の4の(2)のアの該当する項目の条項を記入
	私は、実施要領第3の4の(2)に定める要件に該当するので、基準料率より低減した附加貸付料率の適用をお願いします。			希望する納入方法にチェックを入れる
	実施要領第3の4の(2)のアの(ウ)に該当			
貸付料の納入方法(口に✓して下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 年1回払い			<input type="checkbox"/> 年4回払い

設置する場所の住所を正確に記入

車両のほか、公道走行するトラック等について、加入の有無を○印

・貸付期間の短縮又は延長を希望する場合、希望年数及び理由を記入
 ・短縮は、耐用年数が10年未満は70%まで、10年以上は60%まで可能、1年未満切り捨て
 ・延長は、耐用年数にかかわらず120%まで可能、1年未満切り上げ

リース物件の用途を簡潔に記入

附加貸付料低減を申請する場合は、実施要領の第3の4の(2)のアの該当する項目の条項を記入

希望する納入方法にチェックを入れる

設計図書のみ必要

3 添付書類

- (1) 見積書、カタログ及び図面(図面については**原本証明**を行ったもの)等
- (2) 共同利用の施設等にあつては、共同利用契約書
- (3) 「機構のリース事業の健全かつ円滑な実施の確保について」に基づき必要となる**書面**
- (4) 複合経営である場合は、他の**経営の収入等**の明細等

不動産所得等

収入金額に対する負債等の割合が5割を超える場合は、長期借入金等負債の償還計画、申請額とリース債権残高を合わせて3千万円を超える場合は、経営計画、事業計画等

(2)事例2(貸付申請者が法人の場合)の記載方法

前提条件

申請者	屋号又は法人名	虎ノ門畜産(有)
	経営者又は代表者	神谷 太郎
	後継者	—
経営状況	経営形態	酪農
	飼養頭数・規模等	搾乳牛70頭・育成牛30頭
	生産量	9,500kg/頭
	労働力	3人(家族労働3人)
	田畑	田1ha・畑1ha・草地6ha
貸付希望施設等	名称	換気扇(インバータ付き)
	能力	インバータ方式 型式NK-14FRB、NK-14EZB
	購入価額(円、税抜)	3,100,000
	利用方法	畜舎内環境改善

貸付申請に当たって提出する書面(法人用)

作成者	提出が求められる書面	様式の所在	
借受者	貸付施設等貸付申請書	実施要領－別紙様式の1 実施要領－様式1号の2(法人)	
	貸借対照表(直近年度)		
	損益決算書(直近年度) * 販売費及び一般管理費及び製造原価報告書		
	認定農業者である場合、認定書面		
	状況に応じて必要な書類	長期借入金等負債の償還計画書 (負債等の割合が5割超の場合)	リース事業の健全かつ円滑な実施の確保について－別紙2
		経営状況報告書 (申請額等が3千万円～1億円未満の場合)	リース事業の健全かつ円滑な実施の確保について－別紙3
		事業計画書 (申請額等が1億円以上の場合)	リース事業の健全かつ円滑な実施の確保について－別紙4
		共同利用計画書 (共同利用の場合)	
		他の経営の収入明細 (複合経営等である場合)	
		貸付対象施設等を設置するために必要な法的手続きに関する調査(構築物等の場合)	留意事項(通常リース)－様式例2
受託団体等	貸付申請書の進達書	留意事項(通常リース)－様式例3	
	畜産高度化支援リース事業貸付申請に係る審査表	留意事項(通常リース)－様式例1－1	
販売業者	販売業者の見積書		
	貸付施設等のカタログ・図面		
	中古の場合	中古機械等の評価書	
		古物商許可証の写し	

申請書を作成した日
を記入

平成27年7月1日

畜産高度化支援リース事業貸付施設等貸付申請書
(畜産環境整備リース事業)

一般財団法人 畜産環境整備機構 理事長 殿

本社住所を記入

○名称
法人人名を記入
○氏名等
代表者名を記入

貸付申請者 (〒)住所又は所在地
〒1050001 港区虎ノ門 3-19-13

ふりがな とらのもんちくさん
名称 虎ノ門畜産(有)

ふりがな かみや たろう
氏名等 神谷 太郎
電話番号 03-321-7654



○アドレス
・メールアドレスを所有していれば、そのアドレス
・ホームページを開設していれば、そのアドレス

この申請書に貸付けを受けたく、畜産高度化支援リース事業施要領(以下「実施要領」といふ。)第9条の2の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。
なお、貸付申請に当たり、下記3の事項についてはこれを誓約します。

申請者の経営規模・状況等を簡潔に記入

1 貸付申請者の状況等

(記入例)

現在、乳牛100頭規模の酪農を経営。経営状況は、24年度までの3年間連続して所得が赤字でしたが、25年度は黒字になりました。今後、良質な生乳を生産することにより経営の安定を図りたい。

貸付申請施設等の導入理由及び導入後の効果等を簡潔に記入

2 貸付希望施設等

(記入例)

現在、畜舎を開放して温度を下げていますが、夏場において畜舎内の温度が上昇し、乳量等に影響が出ています。このため、夏場の乳量を確保し、良質の生乳を生産するために、換気扇を導入が必要になる。

3 誓約事項

- (1) 貸付決定の上は、実施要領、貸付契約書の諸条項及び貸付決定通知書の記載事項を遵守します。
- (2) 貸付施設等を借り受けるに当たり、貸付契約の締結時に、「リース事業保証保険」に加入する必要がある場合、機構にその手続きを委任します。
- (3) 今後の貸付決定通知書等文書の受領、貸付料等金銭の納入等に係る諸手続きについては、すべて受託団体を通じて行います。

1 貸付申請者の状況等

法人名・集団名		虎ノ門畜産(有)		
農協等への加入時期		大・昭・ \oplus 10年 4月		
労働力(従業員数)		4人(家族労働 3人、雇用労働1人)		
本金(出資金)及び構内訳	総額	10,000千円		
	出資者名	神谷太郎、金額 8,000 千円、出資者名 神谷恵子 金額 2,000 千円		
	出資者名	、金額 千円、出資者名、金額 千円		
農業経営	家畜家さんの種類	申請時(頭・羽)	前年度(頭・羽)	前々年度(頭・羽)
	乳牛 経産牛	70	68	68
	育成牛	30	30	
	田畑等の面積	田 1ha、畑 3ha、草地 5ha		
項目	26年度(千円)	25年度(千円)	24年度(千円)	
売上高①	68,120	60,308	59,704	
売上原価②	21,694	20,524	20,318	
販売費及び一般管理費③	43,286	43,122	42,260	
営業損益④=①-②-③	3,140	Δ 3,338	Δ 2,874	
営業外損益⑤	4,177	1,253	102	
経常利益⑥=④+⑤	7,317	Δ 2,085	Δ 2,772	
特別利益及び損失⑦	Δ 5,761	Δ 105	510	
法人税等⑧	100	100	100	
当期損益⑨=⑥+⑦-⑧	1,456	Δ 2,290	Δ 2,362	
利益剰余金等の額⑩	Δ 9,614	Δ 11,070	Δ 8,780	
長期借入金等負債の額⑪	67,748			
負債等の割合⑫=⑪÷①	99%			

資本金総額及び出資者名・出資金を記入

家畜の飼養頭羽数は、種類別に必ず記入
預託については、その頭数を()書き

左の年度を直近年度とする

田畑等の面積は、借地を含めて記入

①～⑩までは、例として示している、別添1の平成25年決算書の「損益計算書」及び「貸借対照表」の該当する番号の額を記入

・5割を超えているため、「長期借入金等負債の償還計画」の提出が必要
・5割未満の場合は、提出の必要なし

貸借対照表の固定負債の額及び繰越利益剰余金が赤字の場合の額を合わせた額

⑫ 集団の場合、畜産農業者が含まれていることを証すること。
⑬ 加入時期は、リースを申請する窓口である団体(農協、飼料基金等)に加入した年月とすこと。
⑭ 家畜家さん等の種類欄は、乳牛、肉牛(黒毛、F1、乳用種等)、繁殖豚、肥育豚、卵鶏及び肉鶏等を記載する。頭羽数は、種類ごとに行きでできるだけ詳しく記入する(乳牛の例:育成牛、子牛、未經産牛など)。また、預託の場合は、()書きで内数の頭数を記入すること。
⑮ 貸借対照表、販売費及び一般管理費、製造原価明細書等並びに売上高等の明細を添付すること

5 取得額(消費税込み)が3千万円を超える場合は、直近5年の経営状況を記載すること

- ・リース物件ごとに記入
- ・複数台数を一括して申請する場合は、備考欄にその明細を記入する
- ・貸付対象施設等の名称は、実施要領別表の貸付施設等の名称を記入
- ・本体価額は税抜きで千円単位

2 貸付申請施設等

リース物件の名称	換気扇			合計
①本体価額	3,100,000 円	,000 円	,000 円	3,100,000 円
消費税額(円単位)	248,000 円	円	円	155,000 円
合計(円単位)	3,348,000 円	,000 円	円	3,348,000 円
②補助金額	,000 円	,000 円	,000 円	,000 円
③取得価額(①-②)	3,100,000 円	,000 円	円	3,100,000 円
備考欄(台数が複数の場合は明細)	NK-14FPB 5台 NK-14EZB 5台			
販売業者等	名称	港機械(株)	設置する場所の住所を正確に記入	
	電話	03-999-1234		
銘柄又は製造業者等	M社製			
型式・面積・容積				
新品・中古の区分	新品・中古			
製造年(中古のみ記入)				
設置場所(車両の保管場所)	港区虎ノ門 5-12-3			
車両保険加入の有無	有・無			
貸付期間の短縮又は延長(理由)	7年→4年	年→年	年→年	年→年
(記入例) 資金計画の都合により償還を早めたい				
貸付対象施設等の利用方法(用途) (記入例) 畜舎内に設置することにより、夏場の温度を引き下げる。				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リース物件の用途を簡潔に記入</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">附加貸付料低減を申請する場合は、実施要領の第3の4の(2)のアの該当する項目の条項を記入</div> </div>				
私は、実施要領第3の4の(2)に定める要件に該当するので、基準料率より低減した附加貸付料率の適用をお願いします。 実施要領第3の4の(2)の アのウ に該当				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">希望する納入方法にチェックを入れる</div>				
貸付料の納入方法(□に✓して下さい) <input checked="" type="checkbox"/> 年1回払い <input type="checkbox"/> 年4回払い				

注 1 ②の補助金額は消費税抜きで1,000 円未満切り捨てとする。

2 基準料率より低い附加貸付料の料率の適用申請者が認定農業者である場合は、**認定書面の写**を添付すること。

設計図書のみ必要

3 添付書類

- (1) 見積書、カタログ及び図面(図面については**原本証明**を行ったもの)等
- (2) 共同利用の施設等にあつては、共同利用契約書
- (3) 「機構のリース事業の健全かつ円滑な実施の確保について」に基づき必要となる書面
- (4) 複合経営である場合は、他の**経営の収入等**の明細等

不動産所得等

収入金額に対する負債等の割合が5割を超える場合は、長期借入金等負債の償還計画、申請額とリース債権残高を合わせて3千万円を超える場合は、経営計画、事業計画等

様式1号の2の「直近の決算状況」の各項目や「長期借入金等負債の償還計画」に引用する金額(吹き出しの○付き数字は「直近の決算状況」の各項目の数字に対応)

貸借対照表
(平成27年3月31日現在)

単位:円

資産の部			
【流動資産】			
現金及び預金	6,068,350		
売掛金	5,790,100		
未収入金	3,119,950		
棚卸資産	2,544,150		
		流動資産計	17,522,550
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	7,671,450		
構築物	3,551,100		
機械装置	19,667,550		
車両運搬具	954,450		
生物	23,585,100		
		有形固定資産計	55,429,650
(投資その他資産)			
出資金	23,100		
積立金	748,650		
		投資その他の資産計	771,750
		固定資産計	56,201,400
		資産の部計	73,723,950
負債の部			
【流動負債】			
買掛金	3,828,300		
短期借入金	105,000		
未払金	5,034,800		
未払費用	6,235,950		
		流動負債計	15,204,050
【固定負債】			
長期借入金	34,650,000		
役員借入金	23,484,000		
		固定負債計	58,134,000
		負債の部計	73,338,050
純資産の部			
【株主資本】			
[資本金]		10,000,000	
[利益剰余金]			
(その他利益剰余金)	△ 9,614,100		
繰越利益剰余金	△ 9,614,100		
		利益剰余金計	△ 9,614,100
		株主資本計	385,900
		純資産の部計	385,900
		負債・純資産の部計	73,723,950

⑪
固定負債の額を記

⑩

⑪固定負債の額と⑩繰越利益剰余金が赤字であった場合の合計額が、①売上高に対して50%を上回っていた場合は、「長期借入金等負債の償還計画」を作成する。

損益計算書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

単位:円

【売上高】			
生乳売上高	61,595,100		
乳牛売上高	4,923,050		
補給金収入	1,602,300	68,120,450	
【売上原価】			
飼料購入費他	21,694,050	21,694,050	
		売上総利益	46,426,400
【販売費及び一般管理費】			
役員報酬	7,455,000		
給料手当	2,016,000		
事務用品費	5,250		
消耗品費	1,571,850		
保険料	2,874,900		
修繕費	2,104,200		
水道光熱費	1,240,050		
減価償却費	14,965,250		
交際費	496,650		
旅費交通費	143,850		
通信費	313,950		
車両費	1,108,800		
支払手数料	6,417,600		
租税公課	581,700		
諸会費	77,700		
雑費	1,913,100	43,285,850	
		営業利益	3,140,550
【営業外収益】			
受取利息	1,000		
雑収入	4,307,100	4,308,100	
【営業外費用】			
支払利息	131,250	131,250	
		経常利益	7,317,400
【特別利益】			
固定資産売却益	588,000	588,000	
【特別損失】			
固定資産売却損	2,424,450		
固定資産除却損	3,924,900	6,349,350	
		税引前当期利益	1,556,050
		法人税・住民税等	0
		当期純利益	1,556,050

①

②

「長期借入金等負債の償還計画」作成時の償還財源に引用する。

③

④

⑤

営業外収益と営業外費用との差額

⑥

⑦

特別収益と特別損失との差額

⑧

⑨

2 その他の様式

様式例3

(受託団体→(県経由)→機構)

酪農発第500号

平成27年7月5日

一般財団法人畜産環境整備機構 理事長 殿

受託団体 〒105-0001
東京都港区虎ノ門5-12-1
電話 03-3459-6300
受託団体名 東京酪農業協同組合連合会
代表者氏名 畜産 次郎

印



畜産高度化支援リース事業貸付申請書の提出について(進達)

この度、下記の貸付申請者から別添のとおり、畜産高度化支援リース事業貸付対象施設等貸付申請書の提出があり、関係書類を審査したところ、適当と認められますので、貴機構との業務委託契約書に基づき進達します。

記

1 貸付申請者及び貸付希望施設等

貸付申請者からの貸付申請書(別紙様式)のとおり

2 検収を委任する場合の相手先

- (1)業務委託 (港酪農業協同組合)(無い場合は、「なし」と記入)
- (2)検収委任 (港酪農業協同組合)(無い場合は、「なし」と記入)

業務・検収の委託がある場合は、必ず記入

3 添付書類

- (1)貸付申請書一式
- (2)その他関連する書類

受託団体等が作成

様式例1-1

畜産高度化支援リース事業貸付申請に係る審査表
(経営リース)

平成27年7月5日

一般財団法人畜産環境整備機構環境整備部 殿

審査表を作成した担当者の記名・押印

所属団体名 港酪農業協同組合
部課名電話番号 03-3459-6300
氏名 環境 一郎



下記の貸付申請者に係る要件等及び貸付けできない申請者に係る審査を行ったので、下記のとおり報告します。

選択するものについては、各項目ごとに、必ず該当するものを○で囲む

要件等		記				
申請者名		門ノ門 一郎				
要件等	貸付申請者は、貸付申資者の要件を満たしているか。	<input checked="" type="radio"/> 是 ・ 否				
	貸付申請施設等は、貸付けの対象となる施設等であるか。	<input checked="" type="radio"/> 是 ・ 否				
	「畜産高度化支援リース事業の健全かつ円滑な実施の確保について」の(1)から(6)に該当しないこと。	<input checked="" type="radio"/> 該当せず ・ 該当する				
項目		25年度	24年度	23年度		
飼養家畜の生産性	酪農	経産牛1頭当たりの年間搾乳量(品種:ホルスタイン)	9,200 kg	9,000 kg	8,900 kg	
	養豚	繁殖	母豚1頭当たりの肥育豚年間生産頭数	頭	頭	頭
		一貫	母豚1頭当たりの子豚年間生産頭数			
		肥育	出荷豚1頭当たりの飼料要求率			
	肉牛経営	繁殖	繁殖牛の分娩間隔(月又は日)			
		一貫	繁殖牛の分娩間隔又は出荷牛平均の1日平均増体重(月(日)又はkg)			
		肥育	出荷牛平均の1日平均増体重	kg	kg	kg
	採卵鶏	飼料要求率(50%産卵日又は出荷鶏平均)				
肉用鶏	飼料要求率(餌付けから49日又は出荷鶏平均)					
収益性の分析	過去3年の単年度ごとの決算が連続して損失を生じていない。		<input checked="" type="radio"/> 是 ・ 否			
	3年連続で損失が発生している場合には次のいずれかの要件を満たしている。(該当するものを○印を付ける。)					
	・ 3年平均で損失金額の割合が売上高の5%以内である。		<input type="radio"/> 是 ・ 否			
	・ 損失の原因が災害などの特別損失でそれを除けば損益はプラスである。		<input type="radio"/> 是 ・ 否			
・ 農業外収入の余剰以下である(個人事業者の場合)。		<input type="radio"/> 是 ・ 否				
経営リースで、堆肥化施設等を設置する場合、当機構の設計・審査技術に基づいて設計されていることを受けた。		必要な添付書類を確認の上、○を付す		<input type="radio"/> 是 ・ 否 <input checked="" type="radio"/> 該当なし		
実施要領に定める貸付申請書の添付書類の他に必要な添付書類		確認		<input checked="" type="radio"/> 確認 ・ 未確認		
添付資料	3千万円から1億円未満の場合は、貸付施設等を導入後の経営状況報告書	申請額とリース債権残高と合わせて3千万円(税込)を超える場合に作成				
	1億円以上の場合は、貸付施設等を導入後の経営状況報告書及び事業計画書(連帯保証を求められた場合は、連帯保証書)					
中古機械の場合は、借受団体、転貸借受団体等は、古物証許可証		有		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		

申請書に記入した直近3年間の経営状況において、所得額が連続して赤字の場合

該当する飼養家畜の生産性の経営指標を直近3年間記入

注 選択する事項については、該当するものを○で記すこと。

間接リースの場合のみ必要

【個人の場合のみ提出】

長期借入金等確認書

所得税青色申告決算書の貸借照表において、借入金等が確認できない場合に、受託団体等の担当者が作成

申請者名を記入

畜産高度化支援リース事業貸付申請に係る審査表の要件等のうち、虎ノ門太郎の平成25年度末現在の借入金等残高は、下記のとおり、19,350,000円であり、平成25年度売上高30,418千円に対し、5割を上回ることを確認しました。

青色申告決算書の収入金額
又は法人決算書の売上高を記入

「下回る」もしくは「上回る」を記入

受託団体等の確認・
作成者が記名押印

平成27年7月5日

港酪農業協同組合

環境 一郎



- ・法人の場合は、決算書の貸借対照表の固定負債の額のうち、長期未払金等とする
- ・本人や親族又は役員等からの借入金についても記載し、返済の有無についても記載する

借入金融機関	償還期間	当初借入金額	残高
日本政策金融公庫	平成22年～30年	20,000,000円	15,250,000円
日本政策金融公庫	平成20年～30年	3,000,000円	1,100,000円
経営者本人貸し	経営者本人貸しのため返済計画なし	3,000,000円	3,000,000円
合計		26,000,000円	19,350,000円

長期借入金等負債の償還計画

(単位:千円)

1	リース事業名 借入先	畜産高度化支 借入先	直近決算にお ける借入金残 高を記入	資金名 スーパー	借入金等の使途 設備資金	利率 1.00%	償還期間 平成22年～平成32年	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
2	借受者名 借入金	虎ノ門畜産(有)	26年度末残高 34,650	—	—	—	—	3,465	3,465	3,465	3,465	3,465

	26年度末残高	資金名	借入金等の使途	利率	償還期間	年度別長期借入金等の償還						
						27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
長期借入金	34,650	スーパー	設備資金	1.00%	平成22年～平成32年	3,465	3,465	3,465	3,465	3,465	3,465	3,465
当機構の既 貸付契約の リース料残 高を記入	23,484	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当機構の既 期借入金等の計①	58,134	法人の場合、直近の決算書の貸借対 照表の繰越利益剰余金が欠損であっ た場合、その額を記入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
繰越欠損額②	9,614	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当機構の既 貸付の貸付残高③	515	経営リース	バーンクリーナー	1.80%	平成23年～平成30年	108	107	106	105	105	105	89
上記リース債権の残額④	68,263	今回申請の貸付施設等の総額 (税込、附加貸付料込)を記入	—	—	—	407	300	194	89	0	0	0
小計⑤=①+②+③	3,289	経営リース	換気扇	0.50%	平成27年～平成30年	5,496	5,495	5,494	5,493	5,477	5,477	5,477
今回貸付申請額⑥	71,552	—	—	—	—	249	745	741	1,228	326	326	326
上記リース債権の残高⑦	14,965	直近決算の損益計算書 の減価償却費を記入	—	—	—	3,040	2,295	1,554	326	0	0	0
債務の合計⑧=⑤+⑥	14,965	—	—	—	—	5,745	6,240	6,235	6,721	5,803	5,803	5,803
減価償却費	0	—	—	—	—	15,165	15,865	15,865	15,865	15,285	15,285	15,285
当期利益(直近3ヶ年の平均)	0	直近3ヶ年の当期利益の平均額を記入し、 各年度同額を記入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
繰越利益剰余金	14,965	直近の決算において、繰越利益剰余金等がある 場合は、5年で除した額を各年度に振り分けるこ とを記入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	14,965	—	—	—	—	15,165	15,865	15,865	15,865	15,285	15,285	15,285

借入年から
最終年まで
を記入

借入時の利率又は変
動利率の場合は、直
近の利率を記入

用途を記入

資金名は正式
名称を記入

直近決算にお
ける借入金残
高を記入

②の額を5年で除し、
その額を各年度に振
り分けて記入。なお、
返済計画がある場
合は、その額を記入。
この場合、返済計画
を提出

法人の場合、直近の決算書の貸借対
照表の繰越利益剰余金が欠損であっ
た場合、その額を記入

今回申請の貸付施設等の総額
(税込、附加貸付料込)を記入

毎年度のリー
ス料試算額を
記入

直近決算の損益計算書
の減価償却費を記入

毎年度の減価
償却費試算額
を記入

直近3ヶ年の当期利益の平均額を記入し、
各年度同額を記入

直近の決算において、繰越利益剰余金等がある
場合は、5年で除した額を各年度に振り分けるこ
とを記入

各年の債務の償還財源の合計額が、⑧
の債務の合計額を上回っていること。確

単年度の利益又は固定資産売却益
などの収入がある場合は、該当する
年度に記入

様式例 2

平成 年 月 日作成

貸付対象施設等を設置するために必要な法的手続に関する調書

1 建築確認

(1) 貸付対象施設の構造(木造又はそれ以外)

建築確認の必要性に影響するので、その構造について記載

(2) 貸付対象施設の面積

構築物の本体(犬走りを含む)、エプロンを除く面積を記載

(3) 設置場所に係る地域指定等

都市計画区域その他建築確認の必要性に影響を与える地域指定等について記載

(4) 建築確認の必要性

建築確認の要又は不要を記載

2 農地転用

(1) 設置場所の現況地目

農地、山林等の登記上の地目を記載

(2) 農地転用許可の必要性

農地転用の要、不要を記載

3 その他の法的手続

その他、農地転用する場所により他法令の許認可等を要する場合があります。
例、水質汚濁防止法等

貸付申請者がコントラクターの場合

本契約書は、集団で貸付申請する場合に必要

一般財団法人畜産環境整備機構貸付施設等共同利用契約書

集団名 ○○共同利用組合

所在地 ○○県○○市12-3

集団の構成員(◎印は代表者、☆は保管責任者)

番地まで記入

住 所 ○○県○○市○○24-6

氏 名 ◎ ○○ ○○ 印

○○県○○市○○

☆ ○○ ○○ 印

○○県○○市○○

○○ ○○ 印

○○県○○市○○

○○ ○○ 印

◎印は代表者、☆印
は保管責任者

貸付施設等名 ロールペラー (型式等 VC1182WXB)

保 管 場 所 ○○県○○市○○45-6

第1 この契約は、畜産環境整備機構貸付施設等(以下「貸付施設等」という。)の共同利用の原則を定め、集団の構成員相互の信頼のもとに貸付施設等の利用管理の適正を図るために定める。

第2 貸付施設等は、下記の方法及び計画により共同利用する。

- 1 共同利用の方法 収穫状態に合わせ、支障を生じないように利用を定める。
- 2 共同利用の計画 効率的利用が図られる利用計画を策定、計画に基づき適正に実施する。

第3 貸付施設等の貸付料、保険料負担金並びに関連する公租公課及び維持管理費の負担方法は、下記のとおりとする。

- 1 貸付料及び保険料負担金 粗飼料利用単価に折り込む。
- 2 公租公課 粗飼料利用単価に折り込む。
- 3 維持管理費 粗飼料利用単価に折り込む。

第4 貸付施設等の利用者は、利用の都度、貸付施設等共同利用記録簿に利用状況を記入するものとする。

第5 本契約に記載のない事項は、構成員全員の賛成により決定する。

共同利用契約の締結日を記入

附則 本契約書は平成27年6月1日に集団の総意としてとりきめたものであるが、貸付施設等の検収の日から発効するものとする。

なお、本契約書を改訂したときは、借受団体(受託団体)へ届出るものとする。

集団で申請する場合は、①から③が必要不可欠

①組織規程及び会計規程の整備、②役員会、総会等の定期開催③決算が役員会、総会等で承認されていること。